

保護者の皆様

大阪府立光陽支援学校
校長 藤野 洋子

令和2年度 学校教育自己診断アンケートの結果について（報告）

このたびは学校教育自己診断アンケートの実施にあたり、保護者、児童生徒の皆様には多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

今回のアンケート結果を以下のようにまとめました。今後の学校教育に活かせるよう、ご報告させていただきます。なお、全項目の集計については学校ホームページに掲載します。

1. 回答率（配付実施日：12/7～12/14）

| | 教職員 | 保護者 | 児童・生徒 |
|----------------|------|-----|-------|
| 肢体不自由部 小学部 | 100% | 82% | 2名 |
| 肢体不自由部 中学部 | 100% | 76% | 3名 |
| 肢体不自由部 高等部 | 100% | 66% | 6名 |
| 肢体不自由部 合計 | 100% | 75% | 11名 |
| 病弱部 小学部・中学部 | 100% | 61% | 30名 |

2. 児童生徒の結果

- ・自力で筆記して答えたり、教員が聞き取り筆記したりするなど、回答方法は様々でした。
- ・9項目の質問に対して全体的に概ね良好な回答が得られています。病弱部の児童生徒については、アンケート実施が入院（転籍）してからのすぐに回答という児童生徒が多く、「わからない」の回答が多くなりました。

3. 保護者の結果

- ・全体を通じて昨年度より「よくあてはまる」「あてはまる」の割合が低くなっていますが、合計が80%以上の項目が18項目中11項目と、半分以上良好な評価をいただくことができました。
- ・特に学校への意識に関する項目、情報提供の項目、防犯・防災の項目は90%と高い評価をしていただいています。今後も保護者の皆様との情報共有を大切にし、「安心・安全な学校」作りを目指してまいります。

（ ）内は昨年度の割合

| | 診断内容 | よくあてはまる | あてはまる | あまりあてはまらない | まったくあてはまらない | わからない | 未回答 |
|----|---|--------------------|--------------|------------|-------------|------------|------------|
| 1 | 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。 | 61% (67%) | 29% (28%) | 4% (3%) | 0% (0%) | 6% (3%) | 0% (0%) |
| | | 90%(95%) -5 | | | | | |
| 7 | 学校は、教育情報について、提供の努力をしている。 (連絡帳・学校安心メール・懇談等) | 56% (63%) | 37% (34%) | 5% (3%) | 1% (0%) | 1% (0%) | 0% (0%) |
| | | 93%(97%) -4 | | | | | |
| 12 | 学校は保護者と連携し、防犯・防災について備え、訓練や準備を進めている。 | 49% (67%) | 47% (29%) | 0% (4%) | 0% (0%) | 4% (0%) | 0% (0%) |
| | | 96%(96%) 0 | | | | | |

- ・人権に関する項目、保護者との交流に関する項目については、肯定的な意見が昨年度に比べ、大幅に少なくなっています。学校として、重く受け止め、教職員の人権に対する意識のもち方や継続的な人権研修の実施などを行い、環境改善に向けて努めていきたいと思ひます。 () 内は昨年度の割合

| | 診断内容 | よくあてはまる | あてはまる | あまりあてはまらない | まったくあてはまらない | わからない | 未回答 |
|----|--|---------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 4 | 教職員は、日常の教育活動において、子どもの人権に配慮した言葉や態度で接している。 | 33% (57%) | 44% (37%) | 6% (3%) | 1% (0%) | 15% (4%) | 0% (0%) |
| | | 77%(94%) -17 | | | | | |
| 16 | 学校は関係機関と連携し、保護者の交流する機会を設けている。 | 23% (49%) | 48% (46%) | 10% (0%) | 1% (0%) | 18% (4%) | 0% (1%) |
| | | 71%(95%) -24 | | | | | |

【本校で生じた人権事案について】

全教職員を対象とした研修を2回実施し、各教職員が作成した振り返りアンケート等、内容を共有し、それぞれの人権感覚の違いや考えについて話し合い、学校生活のあらゆる場面での指導・支援・関わりで、すべての児童生徒に対して、「人権尊重の意識と責任」を持って実践していくことを再確認し、人権感覚の意識の向上を図りました。合わせて、すべての判断軸は「子どもにとって」という視点であることを大切にし、学校教活動においてすべての場面でこの軸がぶれない「健全な同僚性」を全教職員が確認し、これからの教育活動に努めていくことを約束しました。

4. 教職員の結果

- ・教育活動に関する項目について「よくあてはまる」「あてはまる」の合計が80%以上の項目が18項目中15項目と、概ね良好でした。
- ・昨年度からの課題である引継ぎ・整理整頓の項目や情報共有の項目については改善策により、わずかながら肯定的回答が増えたものの、まだ低い数値です。今後も重要な課題として取り組んでいきたいと考えています。 () 内は昨年度の割合

| | 診断内容 | よくあてはまる | あてはまる | あまりあてはまらない | まったくあてはまらない | わからない | 未回答 |
|----|---|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------|------------|
| 16 | 仕事が効率的に実施でき、引継ぎもスムーズに行えるように、定期的な整理整頓を行っている。 | 15% (19%) | 56% (48%) | 24% (25%) | 1% (2%) | 4% (6%) | 0% (0%) |
| | | 71%(67%) +4 | | | | | |
| 24 | 各学部・学年間や各分掌間の連携・情報伝達がスムーズに行われている。 | 22% (16%) | 44% (49%) | 25% (23%) | 3% (2%) | 4% (8%) | 3% (2%) |
| | | 66%(65%) +1 | | | | | |

- ・今年度は、教育活動と学校運営に関する項目のうち、上記2つに加え、人権の項目と肯定的な回答が低い働き方に関する項目について重点を絞り、昨年度に引き続き課題改善に向けて教職員間で意見を出し合い、今後に向けての具体的な改善案を検討しました。次年度に向けて分掌・学部等で反映できるところから進めていきたいと考えています。 () 内は昨年度の割合

| | 診断内容 | よくあてはまる | あてはまる | あまりあてはまらない | まったくあてはまらない | わからない | 未回答 |
|----|---|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------|------------|
| 2 | 児童生徒に関する「言葉・行動」と同僚間で使用する「言葉・行動」の質を高め、人権を尊重した教育活動を行っている。 | 16% (21%) | 69% (60%) | 12% (15%) | 1% (2%) | 1% (2%) | 1% (0%) |
| | | 85%(81%) +4 | | | | | |
| 17 | 「仕事の時間を区切る」「仕事のスリム化を行う」「仕事の仕方を変える」をために工夫・改善に取り組んでいる。 | 17% (20%) | 44% (45%) | 32% (24%) | 4% (6%) | 3% (5%) | 0% (0%) |
| | | 61%(65%) -4 | | | | | |

アンケートにご協力本当にありがとうございました。保護者の皆様には、今後ご理解とご協力の程よろしくお願ひします。